

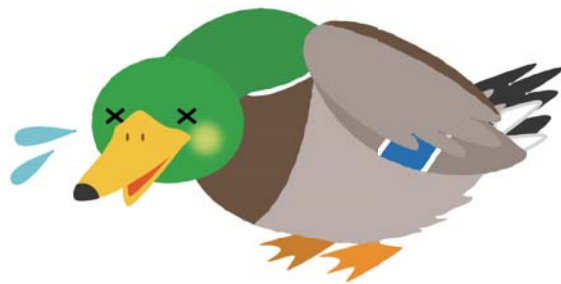
鳥インフルエンザを知ろう！

最近話題の「鳥インフルエンザ」。

その実態をご存じですか？

何が大変で、何が大丈夫か。

きちんと知って備えましょう！



①鳥へのエサやりを控えよう

カモ類へのエサやりによって鳥を集めることで、他の鳥たちへの感染のリスクが高まります。



③人へは感染しにくい

鳥インフルエンザは、感染した鳥との過度な接触など、特殊な状況でない限り人には感染しないといわれています。

羽根やフンなどの接触も控えましょう。



②探鳥会のあとは消毒を

水辺など、鳥のフン等が多く見られる場所を歩いた時などは、探鳥会後に手洗いとうがい、靴の消毒等を行い、ウィルスを拡散させないように注意しましょう。



④死亡または弱っている野鳥を見つけたら…

素手で触らず、お近くの県環境森林事務所へご連絡するか、下記の相談窓口へご連絡ください。

○栃木県自然環境課保護担当

Tel : 028-623-3261

080-1280-6519 (夜間・休日)



最後に

近年、エサやりやデジタルカメラの普及などによって、人と鳥との距離感が変わってきています。鳥本来の活動のためにもエサやりなどによる人からの影響を減らし、鳥インフルエンザの感染のリスクを減らすとともに、鳥たちの自然の姿を見てもらいたいと考えています。

この機会に、人と鳥とのほどよい距離感を考えてみませんか？

お問合せ： 日本野鳥の会栃木 事務局

〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田 2-5-1 共生ビル 2F

Tel : 028-625-4051(火～土曜日、10～17時)

Fax : 028-627-7891